

Ⅲ 生涯学習，地域の文化

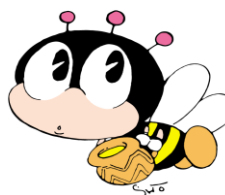
○生涯学習・社会教育

○地域の自然・歴史・文化の重視



(1) 生涯学習とは

生涯学習ということばは、いくつかの意味で使われているが県民のみなさんの学習活動という視点から捉えると、生涯学習とは「人が生涯にわたって学ぶこと、乳幼児期から高齢期まで、生涯のあらゆる時期に行われる学習活動」という意味になる。

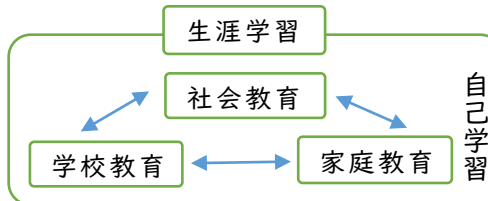


(生涯学習の充実)

- 1 生涯学習推進体制の整備
- 2 生涯学習指導者等養成事業
- 3 社会教育主事の養成
- 4 おきなわ県民カレッジ
- 5 沖縄県生涯学習情報提供システム及び沖縄県遠隔講義配信システムの充実

(2) 社会教育とは

社会教育とは「学校・家庭以外の広く社会で行われる教育」で、身近なところでは、公民館や少年自然の家など公的な施設での講座や青少年教育向け事業、大学等で行われる公開講座、民間で行われる通信教育、カルチャースクールなども社会教育の中に入る。



(青少年の健全育成)

- 1 SDGs達成のための教育推進事業
- 2 「おきなわ地域教育の日」の広報・啓発
- 3 放課後子ども教室推進事業
- 4 地域学校協働活動推進事業
- 5 地域連携担当教員等研修会
- 6 御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス(CGG)運動の支援

(社会教育の充実)

- 1 県立図書館の充実事業
- 2 子どもの読書活動推進事業
- 3 離島読書活動支援事業
- 4 青少年教育施設等の充実
- 5 社会教育指導者等研修事業
- 6 視聴覚ライブラリー整備充実事業
- 7 沖縄県社会教育研究大会等の開催
- 8 公民館研究大会等の開催
- 9 人権教育促進事業
- 10 家庭教育支援者研修会
- 11 家庭教育支援事業
- 12 親子電話相談事業

(3) 生涯学習における教師の姿勢

変化の激しい社会を担う子供たちに必要な「生きる力」を育成していくことが大切である。学校の枠にとどまることなく、家庭や地域社会との連携・協力関係を築き教育環境づくりが必要である。大切なことは教師自ら学習しようとする意欲等を持ち続けることである。それが子供たちに伝わり、学ぶ意欲に繋がりが、「社会を生きぬく力」の養成につながるのである。

(その他の社会教育活動の充実)

- 1 沖縄県社会教育関係団体等連絡会
- 2 沖縄県社会教育委員連絡協議会
- 3 沖縄県公民館連絡協議会
- 4 沖縄県ユネスコ協会
- 5 地域づくりの担い手となる人材育成推進事業

■関連資料■

- ◎『青少年の健全育成を目指した学校と地域の連携・協働の推進に当たって』～第四次提言～
 沖縄県生涯学習審議会 令和 4年
- ◎『家庭教育支援をすすめるためにできることからはじめよう』
 沖縄県教育委員会 平成 3年
- ◎『学校・家庭・地域の連携協力推進事業実践事例集』
 沖縄県教育委員会 令和 3年
- ◎『活用しよう！夢実現親のまなびあいプログラム』バインダー形式
 沖縄県教育委員会 令和 2年
- ◎『第四次沖縄県子どもの読書活動推進計画』
 沖縄県教育委員会 平成 31年
- ◎『生涯学習・社会教育推進の努力点』
 沖縄県教育庁生涯学習振興課 平成 30年
- ◎『地域の人的資源を活用した家庭教育支援～地域ぐるみの家庭教育支援のあり方を目指して～』(提言)
 沖縄県社会教育委員の会議 平成 29年
- ◎『生涯学習推進センターパンフレット』
 沖縄県教育委員会 平成 29年

■ 関連資料 ■



生涯学習・社会教育関連施設

市町村公民館内訳数		市	町	村	計
公民館	中央公民館	8	7	9	24
	分館	6	1	1	8
	地区館	14	23	21	58
公民館	市町村設置	5	7	18	30
類似施設	自治公民館	644	177	149	970

施設	箇所数
県立図書館	1
市町村立図書館	41
県立青少年教育施設	6
沖縄県視聴覚ライブラリー	1
地区市町村視聴覚ライブラリー	6
博物館・美術館 (その他市町村等施設)	6

生涯学習・社会教育関係団体

県高等学校PTA連合会	(一社) ガールスカウト県連盟
(一社) 県PTA連合会	県ユネスコ協会
(一社) 県子ども会育成連絡協議会	県社会教育委員連絡協議会
(一社) 県婦人連合会	県社会教育指導員連絡協議会
県青年団協議会	(公社) 県青少年育成県民会議
県公民館連絡協議会	(公財) 県老人クラブ連合会
(一財) 日本ボーイスカウト県連盟	県特別支援学校PTA協議会
企業・NPO等	

「おきなわ地域教育の日」の推進

① 「おきなわ地域教育の日」(毎月第3土曜日)

県民総がかりで「地域の子は地域で守り育てる」気運の醸成を図るため、平成22年4月より沖縄県社会教育関係団体等連絡会が推奨している。

② 御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス

(CGG) 運動を支援する。

運動月間：毎年12月が運動月間

実施日：12月第3日曜日(家庭の日)

放課後子ども教室推進事業

すべての子どもを対象として、安心・安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進する。

家庭教育支援事業

地域の子育て経験者や民生委員・児童委員など身近な人たちと専門家との連携による「家庭教育支援チーム」の結成支援を行う。

家庭教育支援者研修会

家庭教育を支援する方々の資質向上を目的に、より実効性のある取り組みを進める。子育てを地域ぐるみの取り組みとして、より一層の充実を図る。家庭教育支援者研修会を6地区で開催し、家庭教育支援に携わる人材のスキルアップを図る。

地域づくりの担い手となる人材育成推進事業

地域を支える社会教育団体が行う社会教育事業に対して補助金を交付することにより社会教育に新たに求められている地域づくりの担い手となる人材育成を図る。

社会教育主事講習 [B] 沖縄会場の実施

社会教育主事となる資格を取得させるために、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが行う講習を、県生涯学習推進センターで受講機会を提供する。(1~2月)

おきなわ県民カレッジ

国、県、市町村及び大学等で実施している生涯学習に関する講座等を体系化し、県民に生涯学習情報提供システムを通じ学習機会を広域的・効果的に提供する。

視聴覚ライブラリー整備充実事業

① 視聴覚教材・機材の普及・活用の促進を図り、社会教育・学校教育の向上に資する。

② 視聴覚・情報教育指導者の養成を行う。

地域学校協働活動推進事業

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく様々な活動を推進する。

研修会：年3回実施。講演、実践発表等予定

対象者：コーディネーター、学校関係者、ボランティア他

地域連携担当教員等研修会

学校・家庭・地域を結びつける校内コーディネーターとなる地域連携担当者としての資質向上を図る。

研修会：各教育事務所等で開催予定

「読書活動」の推進

① 毎月第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」を推進する。

② 「子ども読書の日」を記念した取組を実施する。

③ 「文字・活字文化の日」を記念した取組を実施する。

④ 読書活動優秀実践教育長表彰を実施する。

⑤ 高校生読書リーダー育成研修を実施する。

人権教育指導者研修会

人権教育の実践的研修を通して、人権に関する今日的な課題に対応できる指導者としての資質の向上を図り、各現場における人権教育の新たな展開につなげる。

研修会：年1回実施

対象者：学校教育、社会教育、福祉関係者他

親子電話相談事業

(電話番号) 098-869-8753

年末年始・日曜祝日除く 午前9時~午後10時

電話相談員研修会：年10回実施

SDGs 達成のための教育推進事業

持続可能な開発のための教育(ESD)推進のための研修会等を実施する。

※「ユネスコスクールの募集」も随時行う。

研修会：年1~3回実施

対象者：公立学校初任者、中堅教諭

地域の自然・歴史・文化の重視



本県は、亜熱帯海洋性気候のもと、豊かな自然と特色ある歴史や文化が育まれてきた。このような歴史や伝統文化の継承・発展と豊かな感性を育む文化の振興を目的として、文化財課では教育主要施策の一つとして文化財の保護・活用と文化施設の活用、文化芸術活動の推進に取り組んでいるほか、文化庁や文化財団、市町村教育委員会及び学校等との共催により、以下の各種事業を展開している。

各学校においては、総合的な学習（探究）の時間や関連する教科等で積極的に文化財や事業等を活用し、文化芸術活動及び伝統芸能や文化財愛護の推進に取り組んでほしい。



特別活動や関連する教科などで実施可能な文化活動事業一覧

(1) 文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演事業）

- 主 催：文化庁
- 実施内容：国が優れた文化芸術団体を選定し、小学校・中学校等において実演芸術公演を実施する。公演の実施にあたっては、鑑賞と合わせて文化芸術団体と児童生徒の共演参加又は体験を行う。
- 公演演目：合唱、オーケストラ、音楽劇、児童劇、演劇、ミュージカル、バレエ、現代舞踊、歌舞伎、能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸等の実演芸術
- 募集期間：10月～11月（通知決定は4月、実施は5月以降）
- 対 象：小学校、中学校、特別支援学校（小学部、中学部）



(2) 文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）

- 主 催：文化庁
- 実施内容：個人または少人数の芸術家を派遣し、講話、実技披露、実技指導を行う。
- 派遣分野：音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術等
- 募集期間：8～9月（決定通知は4月、実施は6月以降）
- 対 象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校



(3) 子供夢・アート・アカデミー（日本芸術院会員の学校派遣）

- 主 催：文化庁
- 目 的：日本芸術院会員が小・中・高等学校を訪問し、講話、実技披露、実技指導を行い、子供たちに文化芸術活動の素晴らしさを実感させ、夢を持って生きることの大切さや文化芸術を愛する心を育て、豊かな情操を有する文化継承者の育成を図る。
- 公演分野：美術、文芸、音楽、演劇、舞踊など
- 募集期間：4月（決定通知は7月、実施は8～12月）
- 対 象：小学校、中学校、高等学校



(4) 沖縄県提供事業（沖縄県子ども青少年芸術劇場）

- 主 催：沖縄県教育委員会
- 目 的：芸術鑑賞の機会が少ないへき地、離島等の児童生徒に、優れた舞台芸術を提供して生徒の芸術に触れる喜びを与えるとともに、表現活動の機会を確保することにより、児童生徒の芸術活動の機運の醸成と健全育成を図る。
- 公演種目：金管五重奏、木管五重奏、バレエ
- 募集期間：2月～3月（決定通知は6月、実施は10月以降）
- 対 象：県内離島、へき地の小学校、中学校



(5) 児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会

- 主 催：沖縄県教育委員会
- 目 的：県内の児童生徒を対象に無形文化財である組踊等沖縄伝統芸能を鑑賞する機会を提供することで、本県独自の郷土芸能への理解と関心を深めさせることにより、「心の教育」に寄与する。
- 上演種目：組踊及び沖縄伝統芸能
- 募集期間：10月～11月頃
- 対 象：小学校、中学校、特別支援学校



(6) 文化財愛護事業（「私たちの文化財」図画作品募集）

- 主 催：沖縄県教育委員会
- 目 的：県内の児童生徒を対象に、文化財をテーマにした図画作品を募集し、その制作をとおして児童生徒が地域の文化財に興味・関心を持ち、文化財保護・愛護思想の高揚を図ることを目的とする。
- 募集期間：5月中旬～9月末頃
- 対 象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
- そ の 他：入賞作品は、11月の「教育・文化週間」並びに「文化財保護強調週間」の一環として開催する「私たちの文化財」図画作品展示会において展示するとともに、最優秀作品の中から1～2点を文化財保護強調週間ポスターの原画として採用する。

■関連資料■

・書籍（各小・中・高等学校の図書館等に配布済み）

- | | | |
|----------------------------|----------|-------|
| ◎『みんなの文化財図鑑 天然記念物編』 | 沖縄県教育委員会 | 令和4年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 無形文化財編・民俗文化財編』 | 沖縄県教育委員会 | 令和3年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 有形文化財編』 | 沖縄県教育委員会 | 令和2年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 埋蔵文化財編』 | 沖縄県教育委員会 | 平成31年 |
| ◎『みんなの文化財図鑑 史跡・名勝編』 | 沖縄県教育委員会 | 平成30年 |

・参考となるホームページ

- ◎「沖縄の歴史と文化」
沖縄県教育委員会
ホームページより
QRコードはこちら ⇒



- ◎「文化遺産オンライン」
文化庁ホームページ
より
QRコードはこちら ⇒



令和5年度～令和9年度版
学校教育における指導の努力点

発行月 令和5年3月
発行 沖縄県教育委員会
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
TEL 098-866-2741 FAX 098-866-2750
ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/edu/>
〔沖縄県教育委員会〕
